子どもたちの夢を応援します

― 小中高生夢応援プロジェクト ―

夢、辞書には「将来実現させたいと思っている事柄」と記されています。皆さんは子どものころどんな「夢」を抱いていましたか？

コロナ禍で、子どもたちは私生活や学校生活、地域活動に至るまで、これまでにない「制約」の中で日々を過ごしています。

与謝野町では、こんな時期だからこそ、子どもたちが抱く「夢」を町を挙げて応援し、真心を込めて寄り添います。また、保護者の方には、ご家庭で子どもたちの「夢」について話し合い、実現に向けて応援していただきたいと思います。

現在、「小中高生夢応援プロジェクト」の申請を受け付けています。詳しくは、町公式ホームページからご確認ください。

※申請書は学校等を通じて、配布しています

町公式ＨＰ

山添町長からのメッセージ

■ この事業に対する考え

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化してる中、子どもたちの生活や活動にも影響が出ています。コロナ禍であっても、子どもたち一人ひとりが夢を追い求めることはとても大切で、その夢の実現に対して町は寄り添っていきたいと考えています。

■ 子どもたちへ

夢を持ち実現に向けて努力をすることは、人生を輝かせます。新型コロナウイルス感染症の厳しい状況でも決して夢を諦めないでください。

■ 保護者の方へ

子どもたちの可能性を信じる勇気を持ち続けることが大切だと思っています。子どもたちの夢の実現を一緒に応援していきましょう。

ぼく・わたしの「将来の夢」

「陸上の長距離選手」

平井　迅（ひらい　じん）くん

福井県立美方高校（３年）

町駅伝で活躍した平井くん（2016年撮影）

僕は与謝野町で育ち与謝野町で陸上を学びました。強くなるため、京都を出て福井県の高校に進み、走りと勉強を学んでいます。今年の全国インターハイは福井県が会場です。インターハイ出場を決めてコロナに負けない走りで、与謝野町で僕に陸上を教えてくださった方、応援してくださっている方に、恩返しをしたいです。

保護者の方の応援

家族以外にも多くの人が応援してくださっていることを心に留めて走って欲しいです。

定期的に「小中高生夢応援プロジェクト」で申請のあった子どもたちの夢を紹介していきます

災害から暮らしを守る

治山事業

荒ぶる「山」を「治」める治山（ちさん）事業。
近年、多発する豪雨は河川の増水だけでなく、降り続いた雨水が山肌を削り、土砂が流出する災害も引き起こします。土砂災害から私たちの暮らしを守ってくれるのが「治山事業」です。

３月に完成した下山田庄谷地区の治山ダム

「治山事業」とは

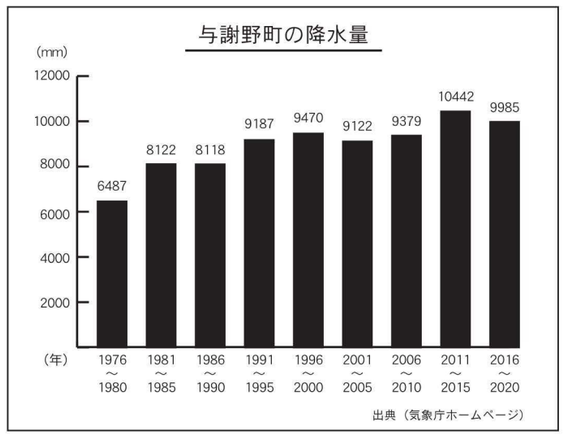
治山事業は、荒廃した森林や山地災害が発生する危険性の高い森林において、治山ダム等の防災施設整備や本数調整伐（間伐）等の森林整備により、森林の持つ防災機能や水源かん養機能の維持・増進を図り、山地災害から住民の皆さんの生命や財産を守ります。また、災害が発生した場合は被害拡大を防ぎ、森林の早期復旧に役立ちます。

与謝野町の現状

与謝野町内には約１７０ヵ所の「山地災害危険地区」があります。「山地災害危険地区」とは、山崩れ・地すべり・土石流などにより、人家や病院、学校、道路などに直接被害が及ぶ恐れのある山地のことです。

京都府と与謝野町では、地元要望に基づき危険度が高い山地災害危険地区において、計画的に治山事業を実施しています。治山事業は、土地所有者の方全員の同意や土地の無償提供等の協力をいただきながら事業を進めています。

３月に「治山ダム」が完成した下山田庄谷地区では、平成30年７月の豪雨災害により山地から土砂が流出し、下流の住宅や道路にまで影響がありました。流域内の渓岸浸食が著しく、このまま放置しておくと今後の降雨により住宅等に被害を及ぼす恐れがあるため、治山ダムを施工。さらに、荒廃した竹林を伐採することにより、安心安全な森林づくりも実施しました。



今後の取り組み

左記のグラフは、１９７６年から与謝野町に降った雨の量です。降水量は増加傾向にあり、今後も豪雨等により山地を起因とした土砂災害が起きる可能性があります。

与謝野町内には、まだ多くの荒廃した渓流が存在しています。引き続き京都府と地元区と連携を図りながら、治山事業を進めてまいります。

問　農林課　☎43・9023

「山地災害危険地区」を確認しましょう

これから本格的な梅雨や台風時期を迎えます。日ごろから、山の危険について知っておき、避難場所や避難経路を確認しておくことが必要です。

山地災害危険地区は京都府ホームページから、避難場所は町公式ホームページから確認できます。

京都府ＨＰ

町公式ＨＰ